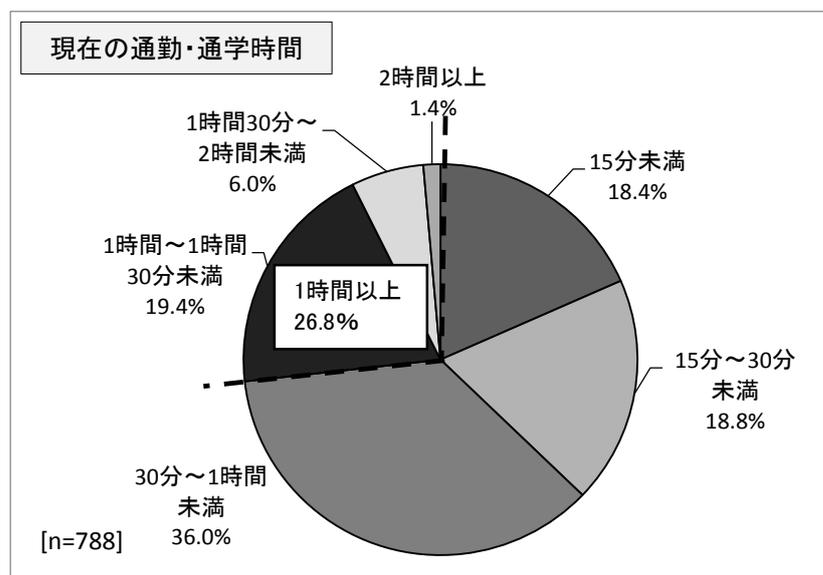


(2) 現在の通勤・通学時間

現在の通勤・通学時間は、「30分～1時間未満」が36.0%と最も高く、以下「1時間～1時間30分未満」(19.4%)、「15分～30分未満」(18.8%) などとなっている。1時間以上は、合計で3割弱となった。

図表 3



《属性別》

性別で見ると、男女ともに「1時間未満」の比率が最も高くなっている。「～30分未満」（15分未満+30分未満）では、女性（44.7%）は男性（32.6%）よりも10ポイント以上高く、男女で差がみられる

年代別にみると、すべての年代で「1時間未満」の比率が最も高くなっている。30代では「1時間30分未満」（23.3%）の比率が他の年代よりも高くなり、比較的通勤・通学時間が長いことがうかがえる。

居住地別にみると、茨城県を除いた都県で「1時間未満」の比率が最も高くなっている。茨城県では「15分未満」が最も高く、「～30分未満」（15分未満+30分未満）で6割を上回り、比較的通勤・通学時間が短いことがうかがえる。「～1時間未満」では、東京都（86.5%）が8割を超えているのに対し、神奈川県（62.7%）、埼玉県（63.5%）では6割強にとどまり、居住地で差がみられる。

図表 4

